

や わ あ!

TIA news

財団法人栃木県国際交流協会
Tochigi International Association
URL <http://tia21.or.jp>
E-mail tia@tia21.or.jp

2006 spring 5 No. 95

やあ!特集

「とちぎ国際交流セミナー・ 世界に飛び出す栃木の高校生たち」

とちぎで暮らして…

世界をペロリ

ようこそとちぎへ

あんな店こんな店

心に残る私の写真

国際理解への扉

レイ ティ ホアさんさん(ベトナム)

ロシア料理「ボルシチ」

国際交流員 顧 雅芳さん(中国・浙江省)

アジア学院オンラインショップ

中国 鈴木美恵子さん

「世界に笑顔の種をまごう」

世界のスイーツ SWEETS

～ブラジル編～



いよいよ、夏の季節がやってくる。トロピカル風のドリンクはマラクシャと呼ばれるバッショングルーツ。
白いドーナツ状のお菓子はビンガ(サトウキビのお酒)入りの「ホスカデビンガ」。

レイ ティ ホアさん (29歳)

LE THI HOA

プロフィール

ベトナム・ホーチミン出身。日本名：斎藤里花さん。

9年前に結婚のため来日。日本人のご主人とは、レイさんの親戚と共にベトナム観光に来たとき知り合ったそうだ。



—こんにちは。日本での結婚生活はいかがですか？

レイ 日本に結婚して、嫁いできたわけなんですが、主人が温泉旅館で板前をやっている関係で、早速、来日してからも主人と共に住み込みで、鬼怒川温泉のほうで仲居をしていました。

—旅館でのお仕事は、大変じゃないんですか？

レイ 旅館での仲居の仕事は朝早く5時ごろから夜10時ごろまでです。確かに大変かもしれません、休みの日は、主人の実家のある宇都宮で過ごしました。でも、日本

に来てから、連休、お盆、正月が休みだったことはないんです。3年前に母が脳梗塞で倒れたので宇都宮の主人の実家で同居を始めました。そ



▲ベトナムの家族と親戚たち

世界をペロリ

ロシア料理「ボルシチ」

材料(2~3人分)：

ビーツ	1つ
じゃがいも	2個
牛肉	120~150g
たまねぎ	1個
にんじん	1本 (飾りつけ)
チャーピル(パクチー)	1束
マヨネーズ(スマタナ)	



今回、紹介してくれたのはロシア出身のロマノフスキーウジムさん。ボルシチは実は家庭により味の違う料理。

今日は、ビーツを使ったボルシチを紹介します。ないときは、トマト等で代用もできるそうです。

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付で紹介します。



できあがり!!



①ニンジン等は皮をむいて水に浸し、キャベツはしんをくりぬいて線切りにする。ビーツは角切り状にする。



②フライパンにサラダオイルを入れ、ビーツを炒める。色が変わったら、水を少し加え、ふたをして蒸らす。



③鍋に水を入れて沸騰させ牛肉を入れ弱火で煮込む。ジャガイモ、キャベツ、たまねぎの順に煮込む。



④炒めたビーツを入れて煮込む。ある程度色がついたら、塩胡椒して5分程度できあがり

平成18年度
栃木県国際交流員（中国担当）

顧 雅芳さん（29歳）
GU YAFANG

プロフィール

浙江省杭州市から高速道路で1時間の上虞市出身。ご主人とお子さんと両親の5人家族。浙江省中国旅行社日本部勤務。



—顧さん、はじめまして。日本は初めてですか？

顧 実は、海外にでもるのも初めてなんです。日本語専攻なんですが、日本ももちろん初めてです。日本人は、親切で、みんな笑顔でいさつしますよね？中国は友達ならいさつしますが、知らない人にはしないんですよ。（笑）

—日本語が上手ですが、専門に勉強したのですか？

顧 私は1995年から99年までの4年間、浙江大学の西溪キャンパスにある外国语学院で、専門に日本語を勉強しました。もともと日本に興味もあったので、中国とも密接な関係があるから、いろいろ日本について知りたかったのです。大学4年のときに、日本語検定1級も取りました。大学のクラスは24人でしたが、今でも日本に関わってる人多くて、日本語の先生をしていました、貿易関係に従事している人が多

いんですよ。中国は、日本語ブームで、日本語学校（塾）も増えています。一栃木県の印象はいかがですか。

顧 駅を降りると「餃子のまち」と書いてありました。（笑）住みやすいところだと思います。

—ただ私のいる浙江より寒く、風が強いですね。また、生活習慣やライフスタイルは違うと思いました。一中国では旅行会社にお勤めだそうですが、どのようなことをされているんですか？

顧 主に私の仕事は、旅行の手配関係全般です。日本の旅行会社からの団体やツアーの見積を出したり、プランニングをしたり、もちろんフリープランのパッケージの見積りも出したりもしていますよ。また、西湖博覧会などのイベント情報の提供もしています。

—これから一年間の計画を教えてください。

顧 自分の国の文化を紹介して、日本人に理解を深めてもらいたいです。特に、食文化や旅行文化などすぐに関心のある分野、入り込みやすい分野からご紹介したいです。私は、仕事も旅行業ですが、趣味も旅行なので、もし時間ができたら、北海道や京都を旅行したいと思っています。



アジア学院 オンラインショップ

那須塩原市にあるアジア、アフリカからの農業技術を学ぶ研修生の受入に伝統のあるアジア学院のオンラインショップを紹介します。

オンラインショップなんで、もちろんインターネットから注文ができるちゃう。

毎日、仕事にデーに追われる貴方もうちで食事をしながらでも買い物できてしまうんです。

アジア学院は材料にできるだけこだわり、安全な食材を提供できるようにしているそうです。すべて、アジア学院内で生産されたものをオンラインショップでも販売しているそ



うです。

オンラインショップの商品をちょっと紹介しましょう。

例えば、ジュース、ジャム、クッキーなど。素材が自然なものがアジア学院の売りにな



▲卒業生の母国のクラフト

っています。

特に、テレビや雑誌などマニアに人気のエゴマ油は売り切れ続出です。

ルバーブというハーブの一種もアジア学院内で生産、販売しています。この商品ももちろん、オンラインでも紹介しています。ルバーブのクッキーやルバーブとトマトのジャム、りんごとルバーブのミックスジャム、イチゴとルバーブのミックスジャムなど販売しています。ルバーブは東洋医学では大黄と呼ばれ、根の部分を用いますが、ジャムを作るときには茎の部分を用います。

今後は、アジア学院内のショップで販売している卒業生の母国で製作したクラフト商品をオンラインでも秋以降、販売する予定です。

このショップはオンラインのため、支払い方法は、振込み、クレジットカード、代引きで、後日、アジア学院の契約している宅配便で届くようになっています。

今後、オンラインショップの商品も随時更新されますので、まめにチェックして、気に入ったものがあったらウェブで購入してみてはいかがですか？

学校法人アジア学院

営業時間 10:00~17:00
定休日 日曜、祝祭日
URL <http://ari.shop-pro.jp/>
お問い合わせ 0287-36-3111



▲ご主人とお子さん



▲アジア学院で生産しているリバーブ



高校生の海外研修プログラム

とちぎ国際セミナー



世界に飛び出す栃木の高校生たち

TIAでは、ラジオを通じて県民の国際理解を深めてもらうために「とちぎ国際セミナー～世界に飛び出す栃木の高校生たち～」という番組を制作し、3月4日(土)～25日(土)の毎週土曜日、CRT栃木放送で放送しました。今回のやあ！特集は、ラジオ番組に出演した5人の元気いっぱいの高校生の海外研修プログラム内容を取り上げます。(高校及び学年は平成18年3月現在のものです。)

森 友美さん（宇都宮北高校3年）

アメリカ合衆国に1年間AFS
プログラムでの高校留学



● 留学先をアメリカに

アメリカ・イリノイ州ロックフォードにあるピースカントリーデースクールという私立学校に留学しました。小さいころから父が仕事の関係で、中東とかヨーロッパに出張したりして、外国のいろいろな話を聴かされていたので、自然と海外には興味がありました。そんなときに高校でたまたまAFSのプログラムを知って、高校生のうちだからこそできることや学べることがあるのではないかと思い参加しました。

わたしが参加したAFSの留学プログラムというのは、高校生が留学先でボランティアのホストファミリーと共に家族の一員として生活し、現地の高校への通学等の異文化体験を通じ、国際理解を深めるというプログラムでした。

留学先をアメリカにしたわけは、中学生のときに短期ホームステイで行ったことがあって、もっとアメリカを知りたいという強い願望からです。

● ホストファミリーと初対面

アメリカに到着した初日はその地区に世界中から集まった派遣生と出会って、オリエンテーションでこれからのアメリカ生活の抱負を語り合ったりしました。翌日ホストファミリーと対面して、その後も何回かホストファミリーと派遣生だけで交流を深めたりしました。学校では、特別扱いされず、普通の生徒と同様に行動し、授業を受けました。

● アメリカで学んだこと

1年間親元を離れて強く感じたことは「自由=自己責任」です。アメリカの高校は日本の高校と違って、受身ではなく、自主的に発言するディスカッション方式だったことです。また宗教や政治の授業では実際の教会や警察署を見学をしたり、裁判所で実際の裁判を見たりしました。この体験で気づいたことはいかに自分が周りの人々に支えられて生きているかということです。これを機に今回出会った人々の縁を大切にしつつ、この経験を生かし、いろいろな場面で自分を試して、成長していきたいです。



▲留学先にて

渋江 絵里加さん

(宇都宮短期大学附属高校調理科3年)

中国浙江省の浙江商業職業技術学院で
6日間の調理研修（同校主催）



● 本場の中国料理

今まで学校の授業で学習してきた中国の歴史や文化そして料理について、本場中国において実際に体験して中国料理を肌で感じたい。そして、これらの中からこれから的人生に生かせるものを探っていきたいと思って参加しました。

● 中国での調理実習

中国の学校にある調理器具を使って私たちも実際に作ってみましたが、包丁が重く切れが悪いのでうまく材料が切れずに苦労しました。また、ガスの火力が強くてちょっと怖かったです。中国の先生方は手際よく食材を裁断して、素早く調理ていきますが、この姿に圧倒されました。この実習を通して中国料理は炎の料理であり、手際のよさが大切なんだということを学びました。

● 言葉の壁

現地では、簡単な英語やジェスチャーを交えて伝えることができました。自分の気持ちが相手に伝わることがとてもうれしく感じました。誠意を持ってすれば気持ちは伝わるんだと思いました。

● 今回の海外研修で学んだこと

私たちにとって扱いにくい包丁を軽やかに扱うことや調理の手際のよさは、先生方も始めから身についたものではなくて日々の努力の成果で身に付けたものだと思います。先生方の仕事に打ち込む姿勢を少しでも身に付けたいと思います。

私は将来管理栄養士になることを目指していますが、中国料理的な要素を取り入れたり、薬膳的な要素を取り入れたりしておいしい病院食や給食を作れるようになりたいと思っています。そして人と人のつながりを大切にし、多くの人の食生活をサポートできるようになります。



▲現地で調理実習

薄井卓也(左)さん・早見宰秀(右)さん
（矢板中央高校体育科2年）

ブラジル・アチバイヤ市にある中沢
スポーツ教育センターへサッカー留学（同校主催）



● 参加した動機

（薄井）先輩たちからサッカー留学があると聞いていたので、違った環境でサッカーをしたくて応募しました。

（早見）第一の動機は昔から海外でサッカーするのが夢だったのでこの研修に参加しました。また、海外の言語や文化を学んだり、日本とどのようなところが違うなど学びたかったからです。サッカーといえば、ブラジルなので行ってみたかったです。

● ブラジルのサッカートレーニング

（薄井）主に個人技術を高めるための基本練習（ドリブル、シュート）を中心でした。プロの試合は日本とは迫力が違ってサポーターもかなり熱狂的でした。またブラジルカップにも参加し優勝することができました。優勝するまで6試合戦ったのですが、現地の選手は同年代でも体も強く技術も自分たちより高いと感じました。

（早見）センターでは午前、午後の2部練習で主に基礎技術向上のための練習でした。実際に現地ではブラジル代表のロナウドやロナウジーニョなど有名な選手の試合も見ることができ、良い経験になりました。また自分が実際に参戦したブラジルカップでは優勝できたのがうれしかったです。自分のサッカーがブラジルでも通用したので自信がつきました。

村山龍馬さん（宇都宮東高校2年）

栃木県・TIA等主催の日仏青少年短期研修事業で友好交流県のフランス・ヴォークリューズ県等に2週間滞在



● 参加した動機

以前から、フランスの文化や芸術には興味あったのですが実際にフランスの歴史や文化に触れて、視野を広げてみたいと思い応募しました。

● フランスでは…

初めの3日間はパリに滞在して、ノートルダム寺院やモンマルトルの丘、ヴェルサイユ宮殿などを観光しました。その後、南仏のヴォークリューズ県で1週間ホームステイや現地のルネ・シャール高校で体験通学をし、生物やフランス語、スペイン語の授業を受けました。ヴォークリューズ県にある有名なアビニヨンの橋のモデルになったサンベネゼ橋にも行きました。フランスで学んだことは、温故知新の心つまり古いものを大切に守り続けているということ。人間の愛は世界中どこでも変わらないということ。そしてそこには言葉の壁がないということ。

● 現地で学んだこと

（薄井）最初は言葉の壁があり、思うように自分の気持ちを伝えられませんでしたが、どんどん交流を深めていくうちに自分の気持ちが伝えるようになり、話すことが楽しくなり言葉の壁もなくなりました。

（早見）自分たちに比べて、ブラジルの人たちはサッカーに対する気持ちがとても強いので、その分同じサッカーをするものとしては参考にしたいと思います。毎日がとても充実していて楽しかったので、ほとんど辛かったことはありませんでした。

● 将来の希望

（薄井）高校を卒業してからもこの研修を通じて、ブラジルで学んできたことをいかして、県や社会人チームに入ってサッカーを続けていきたいと思います。

（早見）自分は将来スポーツ関係の仕事につきたいので、ブラジルに行って学んだことや経験したことこれから先のいろいろな場面でいかしていきたいです。



▲ブラジルでの練習風景

● 楽しかったこと

初めての海外で毎日すべてが刺激的で貴重な体験ができました。体育の授業のサッカーでは、英語でコミュニケーションをとりましたが、フランス人が英語が下手だからとかといって話さないところは意外でした。辛かったことは全くなくてすべてがプラスでした。

● 将来の希望

小さいころから国際交流をしていきたいと思っていたので、フランスが今までよりもっと身近な存在になりました。将来は国語の教員になりたいと思ってましたが、英語の教師もいいと考えています。今、高校で生徒会長しているので中高一貫教育になる前の最後の男子校として勢いのある学校にしたいと考えています。



▲ホストファミリーと



▲上海豫園「湖心亭」を訪れた
鈴木美恵子さん

太湖は桜が満開でした。

中国「五大湖」の一つ、無錫の太湖の周囲では桜が満開でした。日本では初春から初夏にかけて徐々に咲く花々が一気に咲き乱れ、まさに百花繚乱といった感じでした。



杭州の西湖の龍井茶畠は茶摘の最盛期

今回の旅行を通じて、心に残った写真は、浙江省の美しい自然と、中国茶の最高峰・杭州の西湖龍井茶の茶摘み風景です。

上海の豫園にある湖心亭では、世界の多くの要人にもここの龍井茶がふるまわれてきたのだそうです。

このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問合せください。（☎028-621-0777）

TIAトピックス

TIA制作「だれもがなかよく暮らせるように」

子どもや保護者が身近に国際理解への関心を持ってもらえるように、栃木県に住んでいる外国人の出身国やゲームなどを盛り込んだ啓発資料（A1判3つ折）です。3部構成になっており、①いろいろな言葉でいさつしよう（英語と県内の外国人登録者の上位5か国の言葉を紹介）②世界の国旗（世界地図と国旗を掲載）③世界一周すごろくゲーム（県内の国籍別外国人登録者の上位60の国を使用するとともに、そのうち上位20の国と日本の概要を紹介）、各小学校の児童、教員、学級向けに配布しました。

※ご希望の方は協会までご連絡ください。



とちぎ国際協力セミナー ～もっと身近に国際協力～

とちぎ国際協力セミナー～もっと身近に国際協力～が2月19日(日)、とちぎ青少年センターで行われた。青年海外協力隊のOB、OGからは青年海外協力隊で実際にホンジュラスで教員への協力をやってきた山本テツオさんに実際の体験などを語ってもらい、NPOなどの民間団体のメンバーのひとつ「カンボジアっこ支援の会」の代表斎藤洋子さんにはカンボジアに鍵盤ハーモニカを送っている活動状況を披露してもらった。このほか、栃木工業高校国際ボランティアネットワークに所属して生徒たちが、タイで車いす修理を現地で実際に行っている活動及び交流のようすを報告してくれた。またこの後は、青年海外協力隊とちぎ応援団の顧問を務める、元ペルー大使の青木盛久氏が「協力隊の衣食住」というテーマで協力隊員たちの任国での食文化について興味を引くような内容で講演された。



▲現地の状況を報告する斎藤さん

参加者約100人が集う交流会では、ラオスなどの料理も出され、楽しい語らいの場で盛り上がった。

「わいわい地球っ子クラブ」～ナマステ ネパール～

小学生の国際理解のためのクラブの第14回がドイツをテーマに、3月4日(土)にとちぎ国際交流センターで実施された。小学校3年生～6年生の32名が参加。

この日は、ネパール出身の白鷗大学のタバ・スラブさんに協力をいただいた。ネパールの旗は世界で唯一四角形ではないそうだ。ヒマラヤ山のようにゴツゴツした三角形の山が多いことから三角形の旗ができたそうだ。ネパールの言葉や数字、食べ物について教えてもらった後には、パソコンを使ってネパールの風景を見てくれた。山の上に住んでいる人々にとって飛行機は自分たちの下を飛ぶものだそうだ。びっくりネパールについて教わった後は、ぐるぐる回転するネパール式のうちわを作った。最後には子どもたちにネパール語で一人一人の名前を書いてもらった。



▲ネパールの説明をするタバ・スラブさん

日仏青少年短期研修生帰国報告

栃木県と友好交流を進めているフランス・ヴォークリューズ県で県内の高校から選ばれた5名が研修を行い、3月8日(水)にとちぎ国際交流センターで帰国報告を行った。5名の研修生は現地の高校で体験通学やホームステイを行ったほか、フランスの歴史や文化にも触れてきた。



▲ヴォークリューズ県にて

栃木県海外技術研修員帰国

栃木県が国際協力の一環として受入れている4カ国7名の技術研修員が3月16日(金)にそれぞれの国に帰国した。帰国後は、日本で学んだ技術を活かし母国発展に貢献するとともに、日本との友好の担い手となることが期待される。



▲帰国する7名の研修員

Club lycée 「クラブリセ」

‘核・nuclear’あなたは賛成ですか、反対ですか？

高校生のための国際理解クラブ「クラブ・リセ」のミーティングが3月22日(日)にとちぎ国際交流センターで行われた。今回のテーマは「核 ‘nuclear’あなたは賛成ですか、反対ですか？」。ゲストの宇都宮女子高校ユネスコ部7名が研究テーマの「核問題」を発表した。パワーポイントを用いて核開発の歴史、原子力発電所の仕組み等について説明した後、核利用の賛成派・反対派のシンポジウム劇の披露。リセ会員も「核問題」について理解を深めたようだ。



▲あなたは賛成ですか、反対ですか？

国際理解への扉/道の駅国際理解

今回のテーマ…「世界に笑顔の種をまこう！」

栃木県出身のJICAボランティア計12名が3月下旬にそれぞれの任国に出発！！（敬称略）

<青年海外協力隊（20～39歳）>

● 大関信彦（モンゴル・診療放射線技師）

「訓練所生活の達成感と出発へ向けての準備で緊張感がありません。もう一度引き締めてからモンゴルへ向かいます！」

● 永井美智子（ニジェール・村落開発普及員）

「任国にて行う活動は改善かまでの普及、教育の質の向上、環境教育など数多くありますが、自分のできる範囲で精一杯活動してきたいと思います。」

● 古谷桃子（タンザニア・理学療法士）

「現地の人々と大笑いできればいいなと思っています。不安はたくさんありますがいい出会いを沢山したいと思います。」

● 渡辺真樹（ガーナ・婦人子供服）

「今はまったく不安がありません。元気で楽しく2年間活動できるだけで幸せです。行ってきます！」

● 茂木俊知（ホンジュラス・青少年活動）

「まだまだ実感がわきませんがとにかく元気に楽しく現地の子どもたちと遊んで思い出をつくってきます！」

● 木村瀬織（パナマ・保育士）

「不安もたくさんありますが、パナマでどんな人たちと出会えるのかやパナマの子どもたちと沢山遊んで一緒に笑えることがとても楽しみです。」

※掲載広告を募集しています。詳しくは協会までお問い合わせ下さい。

● 田仲慶子（ケニア・エイズ対策）

「準備がまだまだですがケニアに行ったらどうにかなるだろうと思っています。たくさん友達を作ってきてみたいと思います。」

● 千葉華恵子（メキシコ・村落開発普及員）

「あまり気負わず現地の方たちと楽しい2年間を過ごしたいと思っています。不安はたくさんありますがいい出会いを沢山したいと思います。」

<シニア海外ボランティア（40～69歳）>

● 青柳正樹（パナマ・漁村操業・保守）

「リピーターとして戻ります。前回のやり残しとか整理します。」

● 林治雄（ボリビア・飼料作物）

「同じ所へ同じ仕事に出かけます。前回始めた調査を継続5年分の結果をカウンターパートと共に一つの成果にしたいです。」

● 高橋ユリ（タイ・ドレスメーキング）

「古い歴史と文化の国タイの人々と草の根交流を培っていきたいと思います。」

● 宮本康隆（タイ・陶磁器）

「微笑の国タイは初めてです。楽しく活動して参ります。」

“三同主義～現地の人と共に生活・共に仕事・共に思考～”中国隊員時代の合言葉を思い出します。2年間の草の根ボランティアを楽しんできただけで幸せです。行ってきます！」

JICA栃木県国際協力推進員

松島愛実



▲派遣される12名のJICAボランティア

TIA Information Corner

平成18年度国際化推進事業の助成事業募集中!!

TIAでは、栃木県における国際化をさらに推進するために、「国際化推進事業助成金」があります。

○対象事業

- 一般県民に公開されること
- 県内で実施される
- 営利を目的としない
- 日程と内容が具体化している
- 地域の国際化、国際理解、国際協力の推進につながる活動

○申請者の資格

- 県内にある国際交流等の団体
(上記団体の実施委員会も可)
- (注) 地方公共団体等から運営経費の補助を受けている団体は除きます。

○申請締切り 5月31日(水)

○問合せ (財)栃木県国際交流協会

とちぎ留学生奨学金・ とちぎ民間奨学金の奨学生募集!!

県内の大学等に在学している外国人留学生に対し、企業等からの寄付及び栃木県の補助を受けて、平成18年度は次のとおり奨学生を募集しています。

○募集人員

- | | |
|------------------------|-------------|
| ・とちぎ留学生奨学金 | 20名 |
| | (年額60万円／1名) |
| ・とちぎ留学生民間奨学金 | 2名 |
| | (年額24万円／1名) |
| ・とちぎ留学生世界遺産・環境保全奨学金 | 1名 |
| | (年額24万円／1名) |
| ・とちぎ留学生国際ソロブチミスト宇都宮奨学金 | 1名 |
| | (年額24万円／1名) |

○募集締切り 5月31日(水)

○問合せ 在籍する大学等の留学生担当へ

賛助会員募集!!

(財)栃木県国際交流協会(TIA)では、賛助会員を募集しています。皆さまからの賛助会員費は、TIAの様々な事業に使わせていただき、地域の国際化に役立っています。

会員の特典: ●TIA主催・共催等の各種イベントやセミナー等の情報提供。 ●TIAニュース「やあ!」を年4回送付。 ●会員証の提示により指定店の旅行企画商品および海外旅行用品の割引。 ●テレビ方式変換(海外↔日本)の無料サービス。 ●団体賛助会員には、とちぎ国際交流センター利用の場合、予約は2か月前から先行受付(通常は1か月前より受付)。

年会費:個人 3,000円

団体 10,000円

法人 30,000円

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業

在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が応対

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ!」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク(TCN)

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力
＊この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。
＊とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。

新規賛助会員の方々

個人:藤田千津子様、和田利男様、
沢田正和様

～ご入会ありがとうございます～

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄付金の損金算入等の課税特別措置)の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

人事異動のお知らせ

清水常務理事及び内山事務局長が退任し、
沢田正和が事務局長に就任。
大島業務課長が県に戻り、代わりに和田利男が業務課長に交替。
臨時補助員が関春奈から杉本真梨に交替。

第81回定期演奏会

栃木県交響楽団

2006年6月18日(日)午後2時開演(1時30分開場)宇都宮市文化会館大ホール



〈演奏曲目〉

- 伊福部 昭
SF交響ファンタジー第1番
リトミカ・オステイナータ
(ピアノ:山田令子)
- ショスタコーヴィッヂ
交響曲第5番



〈ソリスト〉
山田 令子

全自由席 ￥1,500円(前売1,200円)
お問い合わせ 栄響事務局 ☎028-643-5288



本紙は環境に配慮した再生紙と大豆油インキを
使用しています。

TIA ご案内図



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日